

早稲田大学・環境と貿易研究所 シンポジウム（第1回）

再生可能エネルギーと日米のエネルギー政策

～ 応用一般均衡分析によるアプローチ ～

2013年11月8日（金）

会場：早稲田大学 26号館大隈記念タワー 8階（802教室）

時間：13:00-18:10

【趣旨】

震災後の原子力発電の停止に伴い、再生可能エネルギーの役割に注目が集まっています。しかし、その促進のための「固定価格買い取り制度」は電気料金の上昇を招き、その持続可能性についての検討も必要となっています。本シンポジウムでは、早稲田大学・環境と貿易研究所の成果を紹介するとともに、応用一般均衡分析という経済モデルの日米の専門家から各研究成果をご報告して頂き、今後のエネルギー政策について考えます。

【開催プログラム】

《言語：英語のみ》 * 同時通訳はありません *

13:00-13:10	挨拶	有村俊秀（早稲田大学・環境と貿易研究所長）
13:10-14:10	報告（1）	Makena Coffman（ハワイ大学）
14:10-14:40	報告（2）	武田史郎（京都産業大学、環境と貿易研究所）
14:40-15:10	討論	伴金美（大阪大学）
15:10-15:30	休憩	
15:30-16:00	報告（3）	伴金美（大阪大学）
16:00-16:30	報告（4）	濱崎博（富士通総研経済研究所）
16:30-17:00	報告（5）	岡川梓（国立環境研究所）
17:00-17:40	討論	山崎雅人（名古屋大学） 堀江哲也（長崎大学、環境と貿易研究所）
17:40-18:00	質疑応答	
18:00-18:10	挨拶	松本茂（青山学院大学）

【参加無料・事前予約制（要）】： 予約・問合せ 早稲田大学・環境と貿易研究所

Email : riet.waseda@gmail.com

* 本シンポジウムは、国際交流基金・日米センター、環境省委託研究「環境経済の政策研究」並びに早稲田大学総合研究機構からの助成で実施されています。また、関東環境経済学ワークショップとの共催です。